



前橋俊輔さん
JICA東京学校教育アドバイザー



佐藤真久さん
JICA東京教師海外研修アドバイザー
東京都大学教授



グローバル教育×PBL



ゲストスピーカー
中央大学杉並高等学校
大塚圭先生

2005年 中央大学杉並高等学校

2012年 ブータンへ教師海外研修

2014~15年 PBL版 高校生のための国際協カ門(タイ)

2016~17年 ブータンから学ぶグローバルシニアシップ講座(ブータン)

海外研修を通して

現地の体験を伝える理論と方法を学ぶ



PBLとは?



Project Based Learning



生徒が自ら課題を考え、成果物を作る

Problem Based Learning



教師から生徒に課題が与えられて考える

PBL版 高校生のための国際協カ門

Project Based Learning

事前学習 外部機関の協力



学校だけじゃ
大変



民間企業



タイの留学生

現地研修

ボランティア活動など

事後学習

ココが大事

プロジェクトワーク



ex. 「タイでは交通事故を原因とする

障がい者が多い」



「交通事故を減らし、障がい者数を減らす」

成果物



タイ語
交通安全のパンフレット

課題

教師の負担大きい

難しいので生徒も楽しくない



ブータンから学ぶグローバルシニアシップ講座

Problem Based Learning

課題 ブータンでのおみやげの開発

事前学習 ブータンでの生活・文化などを学ぶ

現地研修 交流・体験を増やす



農村体験

事後学習

おみやげ開発 「エマダ4風ふりか」

辛い

生徒たちの自主的学びへ

もう一度ブータンに行くためクラウドファンディング

今後の展望

学校全体のシステムの中でのグローバル教育を
どう位置づけるか考える

グローバル教育(内容)×PBL(手法)

SDGs(内容)×探究活動(手法)

SDGsを色々つなげるためのツールに



前橋 俊輔さん
JICA東京学校教育アドバイザー



佐藤 真久さん
JICA東京教師海外研修アドバイザー
東京都市大学教授



JICA東京主催
JICA教師海外研修経験者による実践共有リレートーク
SDGs x 学校教育 ~グローバルに世界をつなぐ学校の先生たち~
第4回 学校からのSDGs/ESD (2021年2月13日)



ゲストスピーカー
杉並区立阿佐ヶ谷中学校
本間水月先生

2017年8月 教師海外研修でザンビアへ
2019年 青年海外協力隊でマダガスカル



SDGsの視点で活動力

杉並区公民館キャラクター



SDGs x きまぐれ ~ 私の視点 ~

テーマ決めの流れ

- 1 杉並区について
- 2 問題点を考える
- 3 自分のテーマをいぼる
- 4 SDGsについて考える
- 5 前年の取り組みを振り返る



特別企画

「食品ロス」テーマに学校栄養士さんへインタビュー

生徒に現地インタビューしてもらう



学習の展開

杉並区 x SDGs => ザンビア x SDGs

杉並区とザンビアの共通点を探る SDGsをツールに

古都 x SDGs 「もう一つの修学旅行」

事前学習

- 1 個人レポート

SDGsを通じて、調べるようにする

- 2 班のレポート 「行ってMAP」



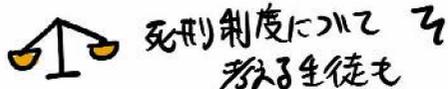
事後学習

地球規模の視点でレポートが出てる



Glocal, 2つの視点の獲得への力がる

弁論大会



感じた課題

1~3年ほどみっちり担当し続けてきたのでは?

=> 解決には、SDGsをツールとした
他教科・学校図書館との連携

保健体育 x SDGs x 学校図書館

司書さんとのコラボ
本の紹介 など

どうしたら「自分ごと」の授業できるか
他教科との連携がカギ

身近な先生とのやりとりから

今後の展望

卒業レポート

自分のこだわりを持ってもらう

地に足をかけて行動するのが大事

「SDGs」とはなんぞを教え込む必要はない

SDGs = 世界のみんながよりよく生きる共通目標



前橋俊輔さん
JICA東京学校教育アドバイザー



佐藤真久さん
JICA東京教師海外研修アドバイザー
東京都市大学教授



JICA東京主催
JICA教師海外研修経験者による実践共有リレートーク
SDGs x 学校教育 ~グローバルに世界をつなぐ学校の先生たち~
第4回 学校からのSDGs/ESD (2021年2月13日)

ラップアップ

共通の内容

- 現職教員特別参加制度の活用
- W型問題解決モデル
探究の過程を「思考」と「経験」のレベルに分け、それを反復して問題の解決へ
- WW型問題解決モデル
「探究 x SDGs」
W型問題解決モデルを発展
解決策の最適化・企画・実践・振り返り
- 2人とも自分のコトでSDGsを話している
SDGs ツールとして利用
- 教育 → 学習モードへ
学習
生徒自身の自主的なもの

大塚先生

教材

本を作るプロセスから学びを構築する

内発的動機づけの強化



生徒たちに素の体馬鹿を作っている

観察的帰納的探究

常においておく SDGs へ

本間先生

社会科 x 図書館 x 学校栄養士との連携



人々との関係性の中での学び

個人・組織・制度・仕組みの中から

課題を捉える

自分で調べ、自分で考え、表現する学習へ



SDGsを通じて古都を見る

→ グローバル



本間先生だけの責任ではなく、

あえてオープンに

ぼやきによる意識化